

西諸地域における自殺対策の取り組み



～事業実施から～

発表者：今村三千代（現中央保健所）

I はじめに

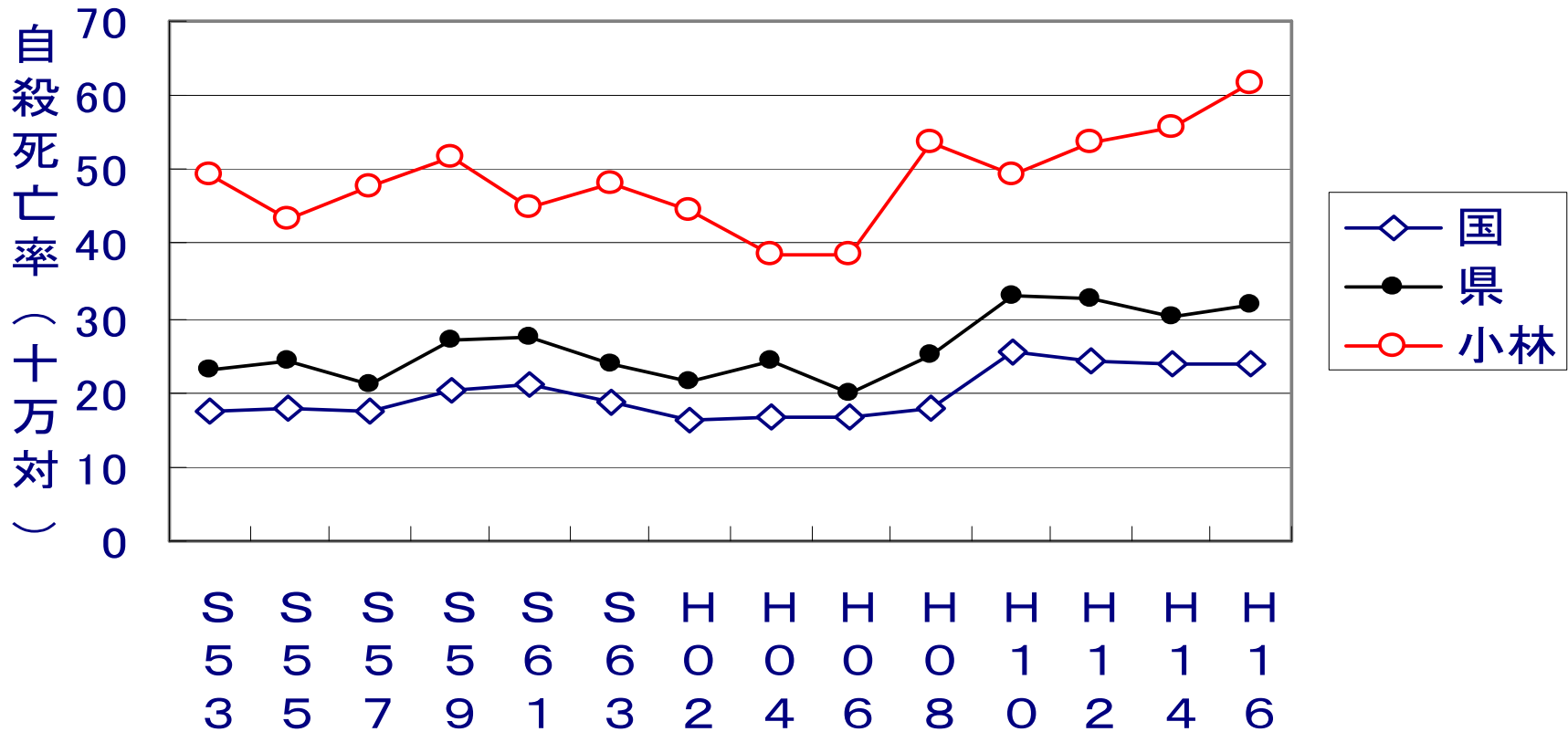
- 自殺対策基本法施行（平成18年10月）
自殺は個人の問題ではなく社会全体の問題であると位置づけ
- 宮崎県自殺対策モデル事業（西諸管内）
平成18年度より3か年計画で展開
- 事業実施後の将来像
「西諸の人々自身が、自然に心豊かに生活できる」

Ⅱ 背景

(1) 西諸地域の現状

- 西諸地域：2市2町
(小林市、えびの市、高原町、野尻町)
- 人口：83,522人(平成17年国勢調査)
- 老年人口：24,746人(高齢化率29.6%)
- 自殺死亡率(平成17年人口10万対)
全国24.2、県30.6、**西諸 50.3**

国、県、管内の自殺死亡率の年次推移



	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
全国	25.4	25.0	24.1	23.3	23.8	25.5	24.0	24.2
宮崎県	33.0	29.6	32.6	28.7	30.3	31.7	31.7	30.6
西諸地域	49.4	49.6	53.5	44.7	55.5	60.6	61.5	50.3



(2) 取組みの経緯

(平成16年度)

- ・「自殺防止対策に係わる調査研究事業」: 県政策調整研究
- ・関係機関との連絡会、こころの健康づくり講演会の開催など

(平成17年度)

- ・「西諸地域におけるこころのアンケート調査」: 県精神保健福祉センター実施
- ・自殺予防対策に関する関係者連絡会議の開催、関係者への研修など



Ⅲ 事業概要(平成18年度)

- 事業実施における基本理念
「西諸地域自殺対策事業実施後の将来像」
- 西諸地域自殺対策協議会の設置
- 既存の事業で自殺対策に活用できるものを
事業計画に盛り込んだ



一次予防

知識の普及啓発

- 啓発用グッズの作成
- 一般住民向け啓発活動
- 地域キーパーソンへの啓発活動

ること」から始
〜西諸地域の自殺を減

ブル
国で約3万人。
自殺率の高い地域。
自殺率が第1位！
受けています。



こついでの考え方は？
地域の「こころの健康アンケート

はあ、ふんふん
健康を心配



ひとりで悩まないで！

四つ葉のクローバー

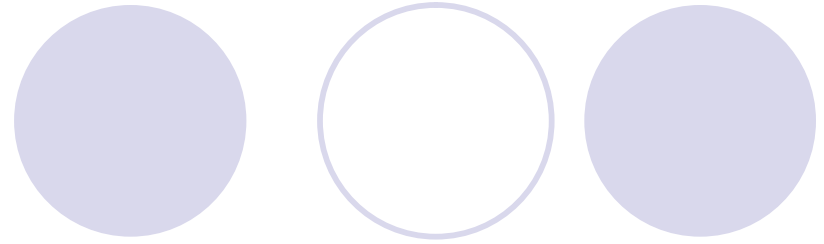
だれかに
話してみませんか

西諸地域自殺対策協議会

四つ葉のクローバー球根

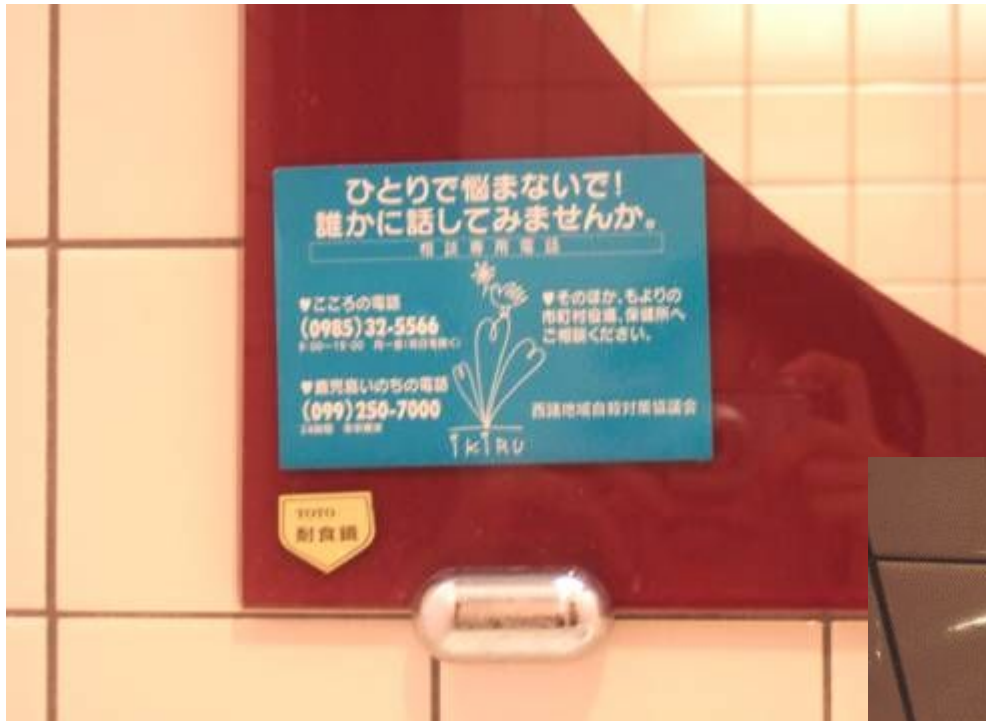


啓発用ワッペン



着用例

ステッカーの貼布例



洗面所



トイレのペーパーホルダー



保健所

各職場での Tシャツ着用



市役所・町役場



のぼり、横断幕を使つての啓発キャンペーン



各種講演会

一般住民向け講演会・シンポジウム



講演会でチラシ、グッズを配付

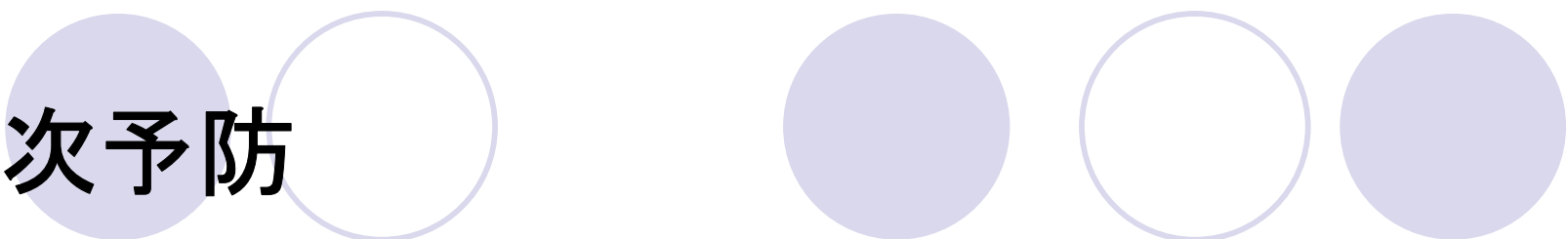


キーパーソン育成

民生・児童委員への研修



ケアマネージャーへの研修



二次予防

自殺リスクの高い方への支援

- 健康診査等におけるスクリーニングの実施
- ハイリスク者への相談や訪問等の支援

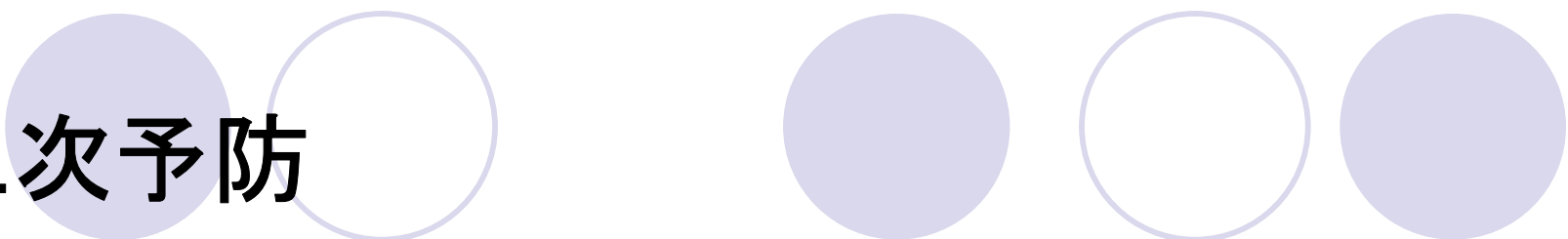


うっすクリーニング

健診等でのうっすクリーニングの実施



スクリーニング実施後の担当者でのカンファレンス



三次予防

自殺(自死)遺族支援

- 自死(自殺)遺族の把握
- 自死(自殺)遺族の集いの開催
- 臨床心理士によるカウンセリング

IV 結果

- 「できることから始める」という意識付けのためのブルーTシャツ着用が保健所から市町に波及した。
- マスコミへ啓発活動の情報提供を密に行ったため、様々な活動を取り上げていただいた。また、開催告知等でも協力をもらえるようになった。
- 自殺対策についての協力の意志を示す住民が増えてきた。
- うつスクリーニングの実施により一定の効果をあげることができた。
- マスコミの協力により自死遺族からの反響があり、「語らう場」をもとめていることがわかった。
- 管内行政機関において、自殺対策の自主的な取り組みや地域保健計画への組み入れなどの成果が得られた。

V 考察



- 自殺対策事業は既存の事業を活用することで対応可能である。
- 二次予防については一次予防の観点からの付加価値を付けた事業構成とする必要がある。
- 事業実施に伴う相談事業等への需要拡大に対応するための体制整備が必要である。

VI まとめ

- 西諸地域で事業を実施してきたが、今後は取り組みの単位を市町単位とするなど、より細やかな事業展開、自主的な活動が必要。
- サポーターの養成、語り合う場の育成、ハイリスク者支援の体制整備に、自死遺族支援等に保健所のコーディネート機能が重要。
- 関係機関の担当者自身のメンタルヘルスへの配慮が必要。
- 自殺対策は「**地域の力**」